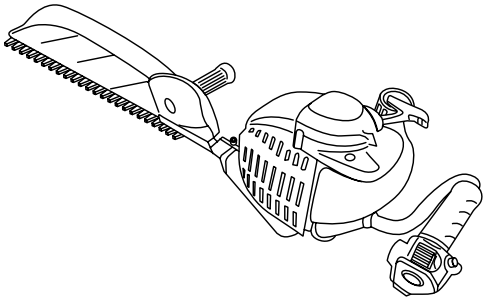
ISO 9001
認証取得

shindaiwa

# 取扱説明書

## エンジンヘッジトリマー

## HT2200S



**⚠ 注　意**

**ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。**
**また、内容をよく理解したうえでご使用ください。**
**不適切な操作や保守は、重大な事故につながるおそれがあります。**
**なお、本書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。**


| 目次 | 項 |
|---|---|
| 1．安全にご使用いただくために | 1 |
| 2．仕様 | 9 |
| 3．各部の名称 | 11 |
| 4．ご購入時の点検と準備 | 13 |
| 5．エンジンの始動と停止 | 13 |
| 6．せん定・刈り込み作業 | 18 |
| 7．点検・整備 | 19 |
| 8．長期保管 | 27 |
| 9．故障の診断と処置 | 28 |
| 10．主な消耗品 | 31 |


新ダイワ工業株式会社

**はじめに**

新ダイワヘッジトリマーをご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたらお求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

ヘッジトリマーは高速で往復する刃物（ブレード）で生垣や植込のせん定、刈り込みをする機械です。人的負傷、火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

## シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

**⚠危　険**　**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。**

**⚠警　告**　**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。**

**⚠注　意**　**取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。**

## 1．安全にご使用いただくために

警告ラベルの説明



**この取扱説明書をよくお読みください。**



**この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネを着用してください。**

## 1—1　ご使用前に

### ⚠危　険

■ 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）にヘッジトリマーを使用させないでください。

■ 本機を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。

■ はじめてヘッジトリマーを使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。

■ せん定作業、刈り込み以外の用途に使用しないでください。

■ 作業中は石、金属やプラスチックなどにブレードを当てないでください。ブレードが破損、飛散する場合がありますので危険です。

■ ブレードがフェンスやワイヤなどの硬いものに当ったときは、ただちにエンジンを停止し、ブレードに異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しいブレードに交換してください。

■ 曲がり、変形、クラック、破損の生じたブレードは使用しないでください。

■ フロントハンドル・リヤハンドル・ブレードが、しっかりと取り付けてあることを確認してください。

■ 作業する場合、ヘッジトリマーの５ｍ以内に他の人、子供、動物がいないことを確認してください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、ブレードを止めてください。

■ エンジン始動時および運転時は絶対にブレードに手や足を近づけないでください。

■ 屋内などの換気の悪い場所では、決してヘッジトリマーを運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。

■ 排気ガスを直接吸ったり、顔面等に直接当てないでください。

**⚠警　告**

■ 決してヘッジトリマーを勝手に改造しないでください。

■ 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業を行わないでください。また作業中に体調が悪くなった場合にはすぐエンジンを止め、作業を中止してください。



■ 夜間および雨・強風・雷などの天候の悪いときは使用しないでください。

■ ヘッジトリマーの操作時間は 1 日 2 時間以内にとどめ、連続作業時間は30分以内とし、連続作業後 5 分以上休憩してください。振動障害をおこすおそれがあります。

■ 摩耗したブレードを使用しないでください。

■ 混合燃料を使用しますので、ヘッジトリマーのそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。

■ 作業前に燃料漏れがないか確認を行ってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。

■ マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。

■ 作業前にヘッジトリマーの点検を行ってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。

■ 必ず保護メガネをつけてください。

■ 必ず耳栓をつけてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。

■ ヘッジトリマーを取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。

■ 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダルなどを着用しないでください。頭髪は肩から下に垂れないように覆ってください。枝や機械の可動部にからまる危険性があります。

■ 靴は底に滑り止めのついた安全靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。




## 1—2 給 油

**⚠ 警 告**

■ ガソリンと 2 サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップをはずすと燃料が吹き出すことがあります。

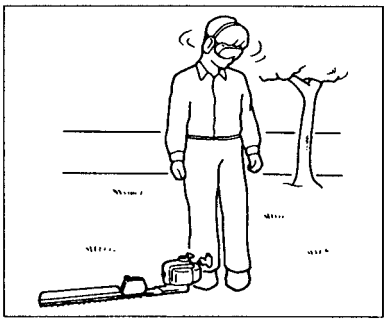
■ こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。

■ 燃料の持ち運びや保管など、取扱いには十分注意してください。

## 1—3　始　動

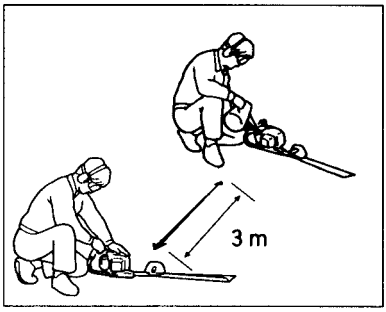
**⚠警　告**

■ エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い場所で行ってください。



■ 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）で行ってください。

■ 本製品は遠心クラッチを装備しているため、スロットルレバーを開けたままエンジンをかけると、始動と同時にブレードが動き始め非常に危険です。始動時は機体を安定した地面において、ブレードやスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないように機体をしっかり押え、スロットルレバーが全閉位置（最低速位置）になっていることを確認後、始動してください。この時、ブレードから目を離さないでください。




■ エンジンがアイドリング時、ブレードが動いていないことを確認してください。
アイドリング時、ブレードが動いていると危険です。アイドリング調整をして回転数を下げてください。

■ 漏れた燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所から 3 m以上離れた場所で行ってください。

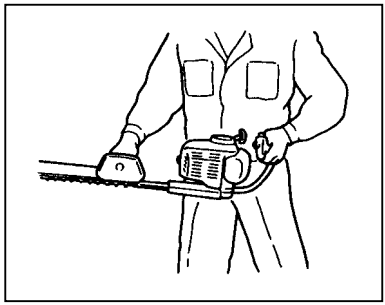
## 1—4 作 業

**⚠ 危 険**

■ 他の作業者と上下で作業をしないでください。
物やヘッジトリマーが落下して重大な事故の原因となります。

**⚠ 警 告**

■ ヘッジトリマーを操作するときはフロントハンドルを右手、リヤハンドルを左手でしっかり握ってください。その他の部分は持たないでください。



■ しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。

■ 作業は原則として一人で行ってください。数人で作業する場合は 5 m以上の間隔をあけて作業してください。

■ ヘッジトリマーを使用している人に近づくときはお互いに合図を行い、エンジンを停止してブレードが停止した後に前から近づいてください。

■ ブレードにものがはさまったり、からまった場合はエンジンを停止してブレードが停止した後に取り除いてください。

■ ヘッジトリマーを落としたり、何か異物に当てたときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。

■ この取扱説明書の作業方法にしたがってせん定、刈り込み作業を行ってください。

■ 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。

■ 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないでください。

**⚠注　意**

■ 運転中または停止直後に高温部（マフラー、排気パイプ、シリンダーなど）に触れないでください。ヤケドをします。

■ せん定、刈り込み作業前には、ハンドルの締付けボルト・ブレードの締付けボルトの点検をしてください。

## 1―5　停　止

**⚠警　告**

■ エンジン停止しても、ブレードはしばらく動いています。スイッチを切ってブレードが停止するのを確認したのち、ヘッジトリマーを地面に置いてください。

## 1―6　点検・整備

**⚠危　険**

■ 点検・整備（掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、ブレードが停止していることを確認してから行ってください。

**⚠警　告**

■ 混合燃料はたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。

■ 燃料キャップや燃料タンクおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。

■ 整備と修理を行うときは新ダイワ純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。

■ 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。そのような整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

**⚠注　意**

■ 点検・整備・掃除などはエンジンが冷えてから行ってください。ヤケドのおそれがあります。

■ ブレードの点検を行うときは、必ず手袋を着用してください。
ブレードでけがをするおそれがあります。

## 1―7　移動・保管

**⚠警　告**

■ 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。また、ブレードにブレードカバーを装着してください、ブレードが人や物に当り危険です。

**⚠注　意**

■ 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、ヘッジトリマーを転倒しないように安定した場所に置いてください。

■ 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。

■ 2～3日以上保管する場合は燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を空にしてください。

**スロットルレバーについて**

＜固定式レバー＞
固定式レバーは任意の位置でレバーを固定できるのでらくに作業ができます。
ただし、レバーから手がはなれてもブレードが動き続けるため、けがをするおそれがあります。安全作業を常に心がけてください。

## 2．仕様

| 項目＼モデル名 | | HT2200S-600 | HT2200S-600B |
|---|---|---|---|
| スロットルレバー形式 | | トリガーレバー | 固定レバー |
| 本体乾燥質量 kg | | 4.0 | 4.1 |
| 外形寸法(L×W×H) mm | | 925×240×190 | 945×235×190 |
| ブレード | 全長 mm | 600 | |
| | ブレード形式 | 片刃 | |
| | 刃高×ピッチ mm | 24×35 | |
| | 往復回数 回／min | 2100（9700/4.6） | |
| エンジン | 形式 | 空冷2サイクルエンジン | |
| | 排気量 mL | 21.1（31×28） | |
| | 使用燃料 | 混合燃料<br>(ガソリン:新ダイワ純正2サイクルエンジンオイル=50:1)(ガソリン:2サイクルエンジンオイル=25:1) | |
| | 点火方式 | 電子点火 | |
| | スパークプラグ | チャンピオン　ＲＣＪ８Ｙ | |
| | 始動方式 | リコイルスタータ（Softスタート） | |
| | 停止方式 | スライドスイッチ | 押しボタンスイッチ |
| | キャブレター | ダイヤフラム式 | |
| | 燃料タンク容量 L | 0.4 | |
| 動力伝達方式 | クラッチ方式 | 自動遠心クラッチ | |
| | 減速装置 | 平歯車 | |
| | 減速比 | 1：4.6（10：46） | |
| | 潤滑方式 | グリス潤滑 | |
| 標準装備品 | | ブレードカバー<br>付属工具一式 | |
| 別売品 | | ストラップ | |

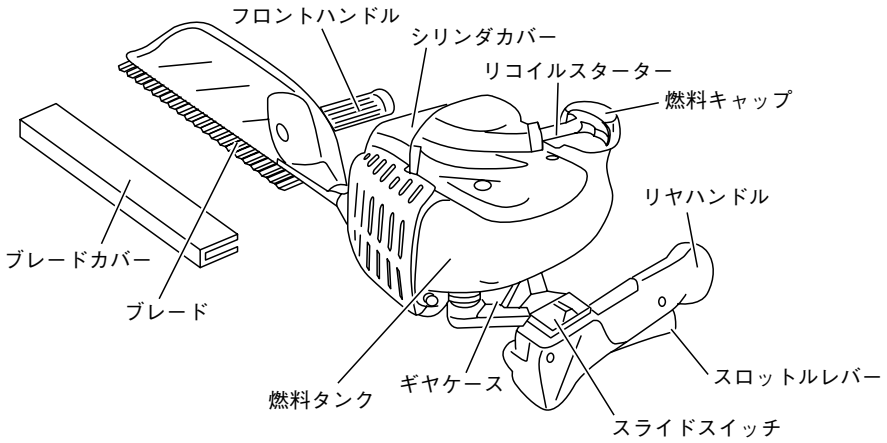
※ 本体乾燥質量にブレードカバーは含まれません。

※ 仕様は予告なく変更することがあります。

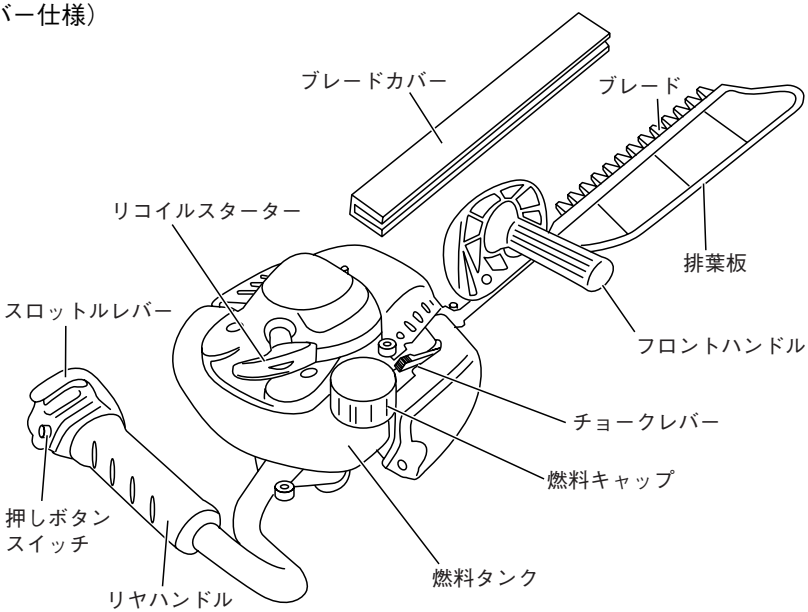
| HT2200S-750 | HT2200S-750B | HT2200S-750H | HT2200S-750HB |
|---|---|---|---|
| トリガーレバー | 固定レバー | トリガーレバー | 固定レバー |
| 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.4 |
| 1055×240×190 | 1075×235×190 | 1055×240×190 | 1075×235×190 |
| 750 | | | |
| 片刃 | | | |
| 24×35 | | | |
| 2100（9700/4.6） | | | |
| 空冷2サイクルエンジン | | | |
| 21.1（31×28） | | | |
| 混合燃料<br>（ガソリン：新ダイワ純正2サイクルエンジンオイル=50：1）（ガソリン：2サイクルエンジンオイル=25：1） | | | |
| 電子点火 | | | |
| チャンピオン　ＲＣＪ８Ｙ | | | |
| リコイルスタータ（Softスタート） | | | |
| スライドスイッチ | 押しボタンスイッチ | スライドスイッチ | 押しボタンスイッチ |
| ダイヤフラム式 | | | |
| 0.4 | | | |
| 自動遠心クラッチ | | | |
| 平歯車 | | | |
| 1：4.6（10：46） | | | |
| グリス潤滑 | | | |
| ブレードカバー<br>付属工具一式 | | | |
| ストラップ | | | |

## 3．各部の名称

ＨＴ2200Ｓ-600・ＨＴ2200Ｓ-750・ＨＴ2200Ｓ-750Ｈ
（トリガーレバー仕様）




ＨＴ2200Ｓ-600Ｂ・ＨＴ2200Ｓ-750Ｂ・ＨＴ2200Ｓ-750ＨＢ
（固定レバー仕様）



| No | 名　　称 | 機　　能 |
|---|---|---|
| 1 | ブレード | 生垣や植込を刈り込む刃物 |
| 2 | フロントハンドル | せん定作業する時に握るハンドルです。 |
| 3 | シリンダカバー | エンジンを被うカバーです。 |
| 4 | リコイルスターター | スターターノブを引いてエンジンを始動します。 |
| 5 | リヤハンドル | せん定、刈り込み作業する時に握るハンドルです。 |
| 6 | スロットルレバー | エンジン回転数を調節するために使用します。 |
| 7 | スライドスイッチ | トリガーレバーの場合スライドスイッチをストップ側にスライドするとエンジンが停止します。 |
| 8 | 押しボタンスイッチ | 固定レバーの場合押しボタンスイッチを押すとエンジンが停止します。 |
| 9 | 燃料タンク | 燃料を入れる容器です。 |
| 10 | 燃料キャップ | 燃料タンクのふたです。 |
| 11 | ギヤケース | エンジンの回転を減速し、往復運動に変える機構が格納されています。 |
| 12 | エアクリーナー | エンジンに吸引する空気のゴミを取り除くフィルターです。 |
| 13 | チョークレバー | 冷えているエンジンの始動時に燃料と空気の混合割合を調整し、始動性をよくします。 |
| 14 | 排葉板 | 刈り取った葉などを受けて、生け垣の中に落さないようにするものです。 |
| 15 | ブレードカバー | 本機の持ち運びや保管の時ブレードに装着するカバーです。 |

# 4．ご購入時の点検と準備

## 4―1　本機の外観チェック

本機は工場出荷の際に厳密な検査をしておりますが、輸送途中での損傷やビス・ナット類のゆるみ、脱落がないか点検してください。

点検の結果、異常や欠品があった場合は、ただちにお求めの販売店かお近くの弊社営業所までご連絡ください。
そのまま使用されますと、重大な事故となるおそれがあります。

# 5．エンジンの始動と停止

## 5―1　燃料の給油

### 1．燃料

燃料は無鉛ガソリン50に対して新ダイワ純正 2 サイクルエンジンオイル 1 の割合で混合した混合燃料を使用してください。
燃料は混合容器にオイルを先に入れ、後からガソリンを加えてよく混合してください。

（例）

| ガソリン50（L） | ： | 新ダイワ純正 2 サイクルエンジンオイル 1（ml） |
|---|---|---|
| 1 | | 20 |
| 4 | | 80 |
| 8 | | 160 |

正しい混合比の燃料を使わないと、適正な性能がでなかったり、エンジン焼き付きの原因となります。

燃料は常に新しい物を使用してください。2～3ヵ月以上保存したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。

2．給油手順

**⚠警　告**

■ **給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。**
■ **平らな場所で給油してください。**

① 異物やゴミをタンク内に入れないために、燃料を給油する前にキャップのまわりをよく掃除してください。
② 給油する前に燃料をよく混合してください。
③ 燃料タンクの燃料キャップをゆっくりと外し、燃料を給油してください。
④ 給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

## 5―2　エンジンの始動

**⚠危　険**

■ **エンジンを始動する時、ブレードが他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。**
■ **エンジンを始動する時、スロットルレバーを全閉位置（最低速位置）にして下さい。全閉位置以外になっているとブレードが動き始めてしまうので非常に危険です。**

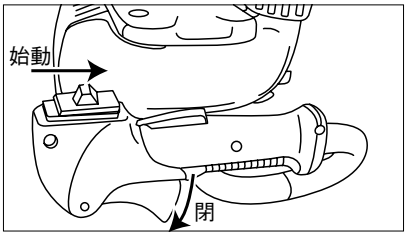
**⚠注　意**

■ **始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。**
■ **リコイルスターターを急に離さないでください。ロープが正しく巻き込まれないことがあります。**

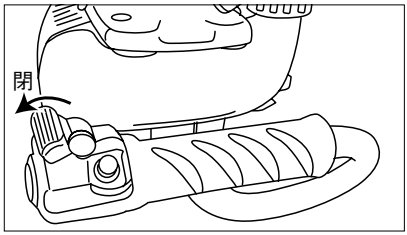
## 1．エンジンが冷えている時、または燃料切れで燃料を給油した時

① スロットルレバーを「全閉」の位置にします。トリガーレバーの場合は手を放すと全閉の位置にもどります。
トリガーレバーの場合スライドスイッチをストップと反対側にします。

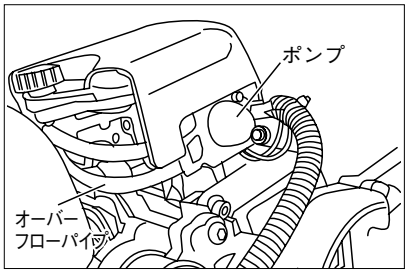
トリガーレバー



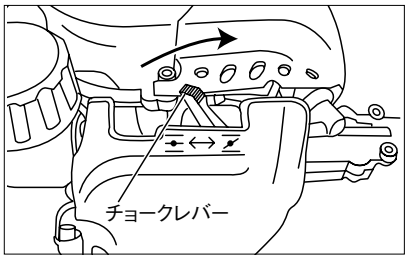

固定レバー



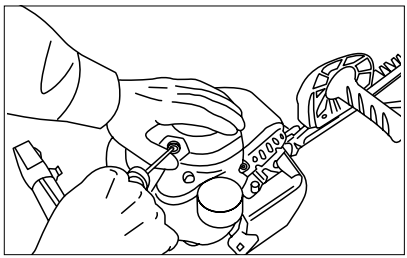

② キャブレターのポンプを数回押し、オーバーフローパイプ（透明のパイプ）から燃料が流れ出ることを確認します。（この時、燃料の泡が無くなるまでポンプを押してください。）




③ チョークレバーをチョーク（閉じる）の方向に起こしてください。



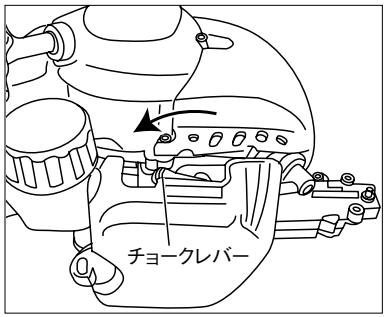

④ ヘッジトリマーを足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。
爆発音がしてすぐに停止した場合はチョークレバーを（開く）方向に戻して再度リコイルスターターを引いて始動してください。



**⚠注　意**

■ チョークレバーをチョーク |◢| (閉じる) の方向に起こして始動するとき、最初の爆発音がしたら、必ずチョークレバーを |◢| (開く) の方向に戻してから再始動してください。チョークレバーを戻さないと燃料の吸い込みすぎになり、始動がむずかしくなります。

爆発音がしてすぐに停止しない場合は、チョークレバーを |◢| (開く) の方向に戻してください。チョークレバーを戻す前に停止した場合もチョークレバーを戻して再始動してください。




⑤　2～3分間アイドリング状態で暖気運転してください。

**2．エンジンが暖まっているとき**

エンジンが冷えている時の①②の順序で操作して、ヘッジトリマーを足場のしっかりした平地に置き、左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。

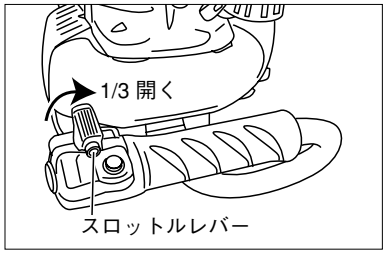
**3．始動が難しい場合**

エンジンが非常に冷えた状態や、使用後でエンジンが非常に熱い状態で始動が難しい場合のみ以下の方法で始動してください。

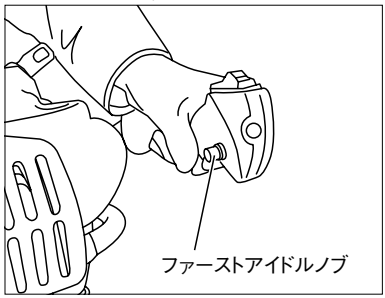
① 固定レバーの場合　スロットルレバーの開度を1/3程度開いてリコイルスターターを引いてください。

② トリガーレバーの場合　スロットルレバーを握ってファーストアイドルノブを押してください。(スロットル開度が1/3程度開いて固定されます。) リコイルスターターを引いてください。

固定レバー




トリガーレバー



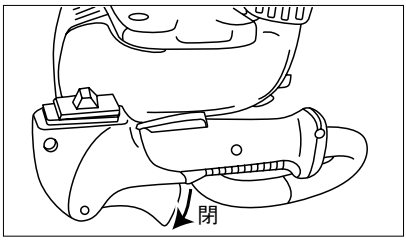
**⚠危　険**

**スロットル開度を1/3程度開いた状態で始動すると、ブレードが動き非常に危険です。ブレードが他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。**

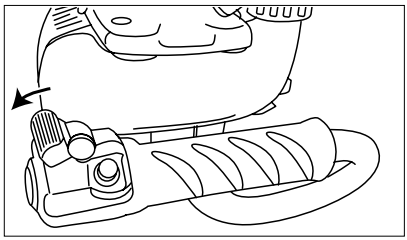
## 5―3　エンジンの停止

① スロットルレバーを「全閉」の位置にします。トリガーレバーの場合は手を放すと「全閉」の位置にもどります。

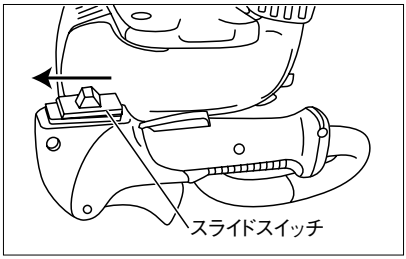
トリガーレバー

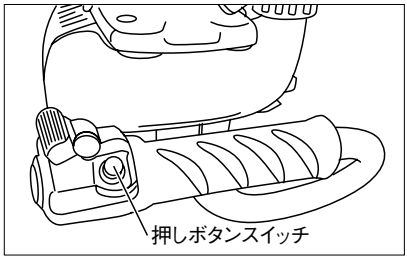



固定レバー



② トリガーレバーの場合　スライドスイッチをストップ側にスライドするとエンジンが停止します。
固定レバーの場合　押しボタンスイッチを押すとエンジンが停止します。




**⚠注　意**

**■　万一、スイッチの故障などで、エンジンが停止できなくなった時は、チョークレバーを⊬（閉じる）方向に起こしてください。エンジンが停止します。**

## 6．せん定、刈り込み作業

**⚠危　険**

■ 他の作業者と上下で作業をしないでください。
物やヘッジトリマーが落下して重大な事故の原因となります。

■ 使用中、ブレードに何か噛み込んで動きが止まっても、エンジンは回転し続けます。
この場合、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。

**⚠警　告**

■ ヘッジトリマーを運転中は常に保護メガネ、耳栓、手袋を着用してください。

■ ヘッジトリマーを操作するときはフロントハンドルを右手、リヤハンドルを左手でしっかり握ってください。ブレードが動いている時は、絶対にハンドルから手を離さないでください。

**⚠注　意**

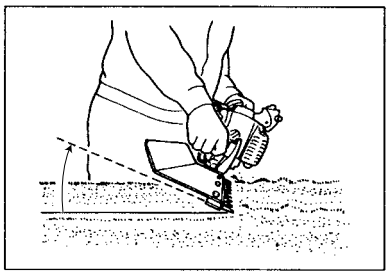
■ 直径10mm程度までの太い枝を切ることは可能ですが、刃の破損及び駆動系の寿命を短くしますので、無理な作業はできるだけ避けてください。

## 6―1　操作の方法

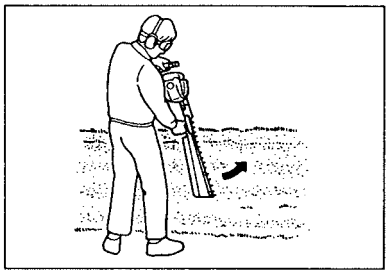
① エンジン始動後、スロットルレバーを開くと、エンジンの回転速度が上がり、ブレードが動き始めます。
作業に応じてスロットルレバーを動かして回転速度を調節してください。

② 生垣などの上の方を刈るときは、ブレードをわずかに下へ向けながら動かすと、刈りそろえがうまくできます。排葉板の上に落ちた葉などを生垣の中に落とさないように刈り込んでください。





③ 横側を刈るときは、ブレードを下から上へ動かしながら刈り込むと、刈りそろえがうまくできます。



# 7．点検・整備

**⚠警　告**

- **ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。**
- **点検・整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。**

## 7—1　キャブレターの調整

キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化等により、調整が必要になったときにのみ行なってください。

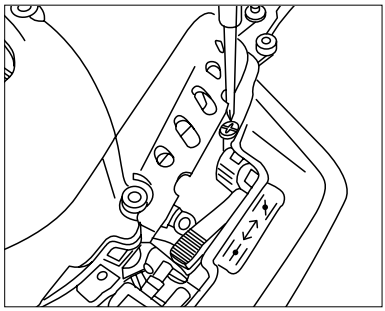
エンジンを始動し、2～3分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

**⚠危　険**

**■　アイドリングの調整時にはブレードが動きます。ブレードの周辺に人または干渉物がないことを確認して行ってください。**

**1．アイドリングの回転調整**

アイドリング時にはブレードが動かないようにアイドリング調整ねじでエンジン回転を下げます。またエンジンが安定して回転するように調整してください。



アイドリング調整ねじを［右に回すと→回転が速くなる。
　　左に回すと→回転が遅くなる。］

アイドリング回転数

3000±250min$^{-1}$（rpm）

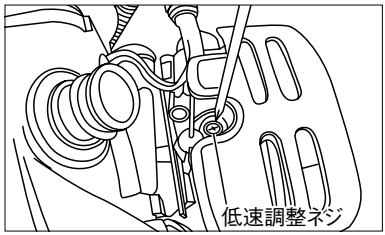
**⚠注　意**

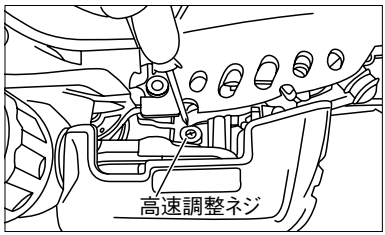
**■　不調の場合は、お求めの販売店か弊社営業所に調整を依頼してください。**

**2．低速と高速の燃料流量調整**

アイドリングからのエンジンの加速が悪い場合やエンジンの回転速度が極端に低いと感じられる時にのみ調整してください。

標準開度は、調整ネジを静かにいっぱいに締め込んだところからの戻し回数です。（エンジン最高回転速度は、9700min$^{-1}$を目安に調整してください。高速調整ネジを締め込み過ぎると、エンジンが焼き付くおそれがあります。）




| | | |
|---|---|---|
| 標準開度 | 低速調整ネジ | 1/2±1/8回戻し |
| | 高速調整ネジ | 1･1/4±1/4回戻し |

**⚠注　意**

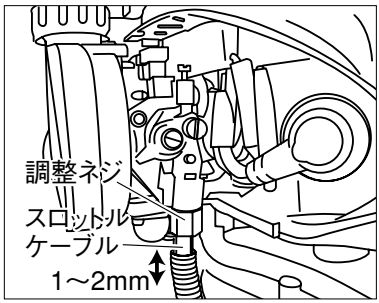
**■　低速、高速の流量調整は難しいため、エンジン回転の不調がある場合はお求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。**

## 7―2　スロットルケーブルの遊び調整

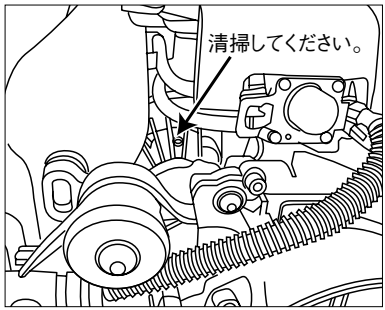
スロットルケーブルの遊びは、工場出荷時に調整してありますが、長時間使用すると伸びる場合があります。必要に応じて下記の要領で調整してください。

①スロットルケーブルの遊びは、スロットルレバーをアイドリング位置にして、調整ネジから出ているスロットルケーブルを指でつまんで軽く引いたときに1～2mm遊びがあれば適正です。必要に応じて調整をしてください。

②調整方法は調整ネジを回してください。

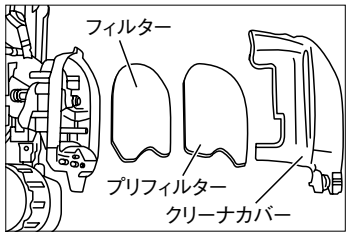


## 7—3　日常の手入れ




1．ヘッジトリマー全体の枝葉やホコリを取除いてください。特に冷却空気の入口や出口部分、エアクリーナー部分の付着物に気をつけてください。

2．クリーナーの清掃




① クリーナーカバーを外してください。

② プリフィルターは軽くたたいてゴミやホコリを取り除くか、適切な洗剤でよく洗い、乾燥させてください。

③ フィルターは、エアーガンを使用する場合、必ずフィルターの内側から外側に向けてエアーを吹き付け、ゴミやホコリを吹き飛ばしてください。エアーガンが無い場合は、はたいてゴミやホコリを落としてください。傷ついたプリフィルター・フィルターは新品と交換してください。

④ プリフィルター・フィルターをもとどおりに取り付けてください。
フィルターをクリーナボディーの形状に合わせて、奥まではめ込み次にプリフィルターも形状に合わせてはめ込んでください。

⑤ クリーナーカバーをもとどおりに取り付けてください。

**⚠注　意**

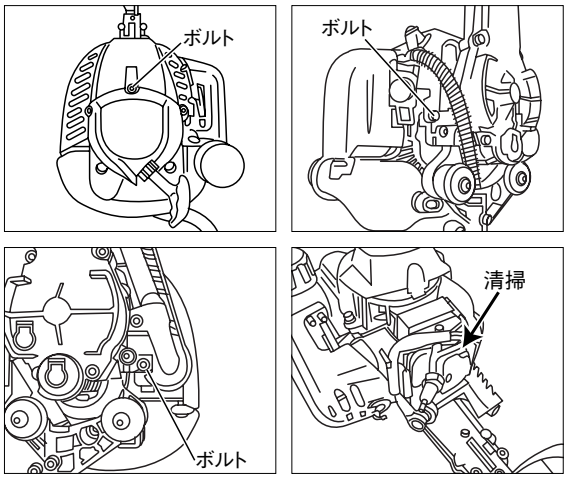
**■　傷が付いたフィルターやフィルターを取り外したままでは絶対にエンジンを運転しないでください。ホコリやゴミなどによりエンジンが故障します。**

3．シリンダーの清掃

① ボルト（3本）をゆるめシリンダカバーを外してください。

② シリンダーのゴミを取除いてください。

③ 清掃後はカバーをもとどおりに取りつけてください。




冷却用の空気取り入れ口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

4．各締付部のゆるみ、あるいは部品の脱落がないかをよく調べてください。特にハンドル・ブレード・マフラーの締付けボルトが緩んでいないか、確認してください。

5．燃料やグリースの漏れがないか点検してください。

6．ブレードには、燃料補給ごとにオイルまたは、マシン油を油差しなどで注油してください。
ブレードのオイルが不足すると切れ味が早く悪くなります。

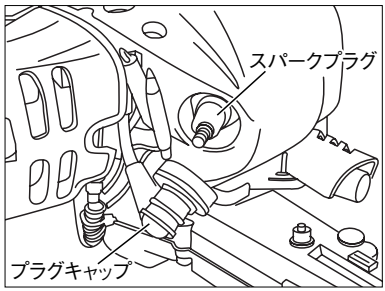
7．雨水等で濡れたブレード部を上向にしたまま、置かないでください。ギヤケース内に水が入り込んで錆びる原因になります。

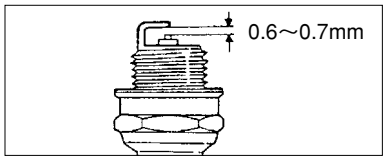
## 7―4　20時間毎の手入れ

**⚠注　意**

■ スパークプラグを取扱う場合は、エンジンが十分冷えてから行ってください。やけどするおそれがあります。

### 1．スパークプラグの点検




① プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。

② ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落してください。必要なら電極のすきまを調整してください。
正しいすきまは0.6～0.7mmです。

③ スパークプラグを締め付け、プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。

**⚠注　意**

■ **約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。**

■ **スパークプラグはチャンピオンRCJ8YかNGK BPMR6Aをご使用ください。**

## 2．グリス補給

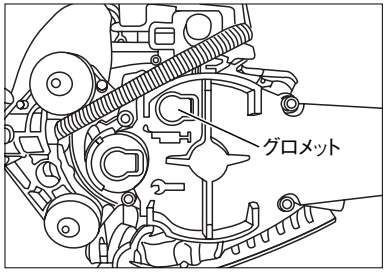
① ギヤケース底部のグリスマークの付いた側のグロメットを外してください。

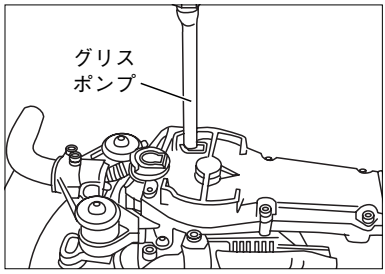
② グリスポンプの場合は穴部に直接押し当てて注入してください。

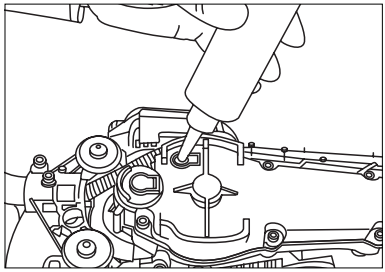
③ グリスチューブの場合は穴から注入してください。

④ グロメットをもとどおりに取り付けてください。
完全に奥まで取り付けられてないと運転中に浮き上がって外れることがあります。

新ダイワ純正グリスかリチューム系グリス（＃２）を30g程度補給してください。
指定以外のグリスを使用すると故障の原因となります。

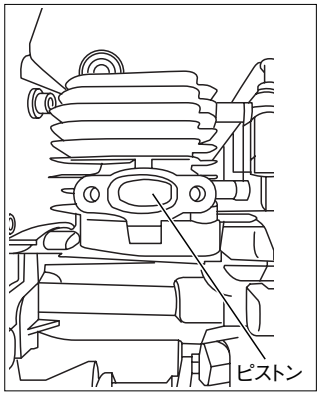


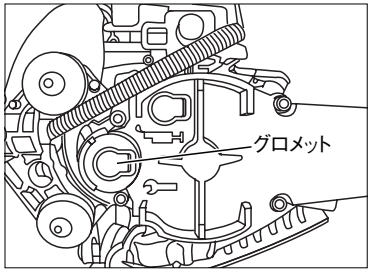
## 7―5　100時間毎の手入れ

マフラーを外してシリンダー排気口とマフラーに堆積したカーボンを竹ベラなどで落してください。シリンダー側のカーボンを落すときはピストンを上死点近くにして、シリンダー内にカーボンが入らないようにしてください。

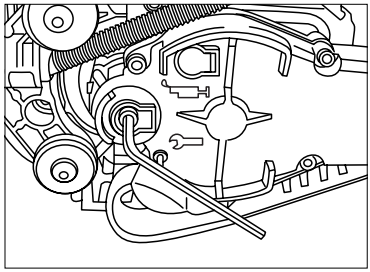


## 7—6　目立ての方法

① ギヤケース底部のスパナ印の付いた側のグロメットを外してください。（シャフトにM5で深さ9mmのネジが切ってあります。）

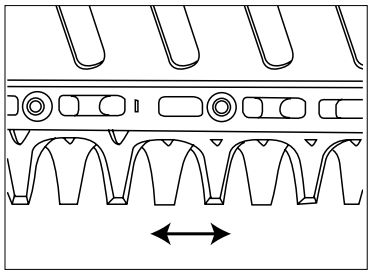



② M5の六角穴付きボルトを取り付けてください。六角レンチでシャフトごとボルトを回して、ブレードを動かしてください。



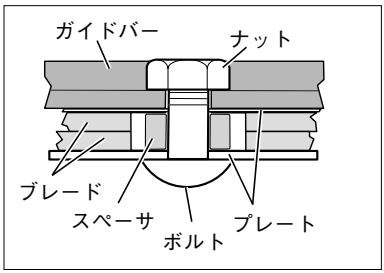
③ 平ヤスリまたは目立て機やサンダーで目立てを行ってください。

④ 上・下ブレード間に堆積したヤニを取り除くと切味が回復します。



## 7—7　ブレードのすきま調整

本製品のブレードすき間調整は必要ありません。刃固定ボルトを締め込むと、最適のすき間になるように設定されています。



## 8．長期保管

次の手順に従って保管してください。

① 損傷箇所がある場合は、修理してください。

② グリス補給をして 2 ～ 3 分運転してください。ギヤケース内の錆対策になります。

③ 各部を十分に掃除して、ブレードにはオイルを塗ってください。

④ 点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。

⑤ 燃料タンクの燃料を全部排出してください。

⑥ エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使いきってエンジンが停止するまで低速で運転してください。

⑦ ブレードカバーを装着してください。

⑧ スパークプラグをはずし、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダ内に流し込み、オイルがゆきわたるように 2 ～ 3 回リコイルスターターをゆっくり引いてください。

⑨ スパークプラグをもと通りに取り付けてください。

⑩ クリーナーカバーを外して、フィルターを掃除してもと通りに取り付けてください。

⑪ 乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。

**⚠ 注　意**

■ **燃料タンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期保管をしないでください。燃料が変質して故障の原因となります。**

# 9．故障の診断と処置

## 9―1　エンジンが始動しない場合

| 区　　分 | 原　　因 | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| リコイルスターターが引けない | ・リコイルスターター故障 | 販売店で修理 | ― |
| | ・ピストン焼き付き | | |
| 圧縮が弱い | ・スパークプラグの緩み | 締め付け | 24 |
| | ・シリンダー、ピストン、ピストンリングの摩耗 | 販売店で修理 | ― |
| 燃料の不良 | ・燃料の変質 | 新しい混合ガソリンを給油 | 13 |
| キャブレターに燃料が来ない | ・燃料フィルターの目づまり | 販売店で修理 | ― |
| | ・燃料パイプの破損 | | |
| スパークプラグが発火しない | ・スパークプラグが濡れている | スパークプラグを乾燥させ、リコイルスタータを回しシリンダ内の燃料を排出し、再始動 | ― |
| | ・スパークプラグにカーボン付着 | 清掃 | 24 |
| | ・スパークプラグすきま不良 | 0.6～0.7mmに調整<br>販売店で修正 | 24 |
| | ・電装部品の故障 | 販売店で修理 | ― |
| | ・スパークプラグが損傷 | 新しいスパークプラグに交換 | 24 |

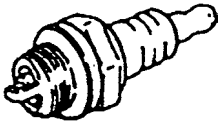
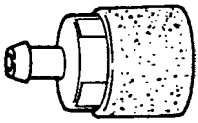
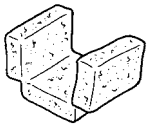
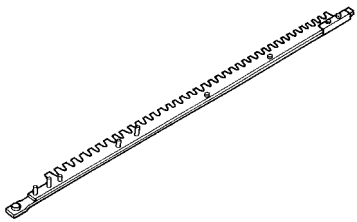
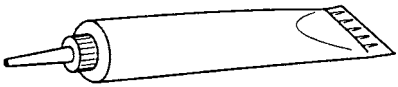
## 9—2　力がない場合

| 区　　分 | 原　　因 | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| エンジンの過熱 | ・過負荷使用 | ゆっくり切断する<br>エンジンを止めて冷やす | — |
| | ・燃料混合比不良 | 正しい混合比の燃料を給油する | 13 |
| | ・シリンダーフィンにゴミが付着 | 清掃または販売店で修理 | 23 |
| | ・ピストン上部、シリンダー排気口、マフラー内カーボン付着 | 販売店で修理 | 25 |
| エンジンの回転むら | ・エンジンの過熱 | 上記参照 | — |
| | ・エアフィルターの目づまり | 清掃 | 22 |
| | ・スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良 | 締め付けまたは交換 | 24 |
| | ・燃料フィルター、パイプの詰まり、またはエア混入 | 販売店で修理 | — |
| | ・燃料に水の混入 | 燃料交換 | 13 |
| | ・ピストン焼き付き | 販売店で修理 | — |
| | ・キャブレター不良 | | |
| ノッキング | ・エンジンの過熱 | 上記参照 | — |
| | ・燃料不良 | 燃料交換 | 13 |
| | ・シリンダー内カーボン付着 | 販売店で修理 | — |

## 9―3　その他の故障

| 区　　分 | 原　　因 | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 加速不良 | ・エアフィルター目詰まり | 清掃 | 22 |
| | ・燃料フィルター目づまり | 販売店で修理 | ― |
| | ・アイドリング回転数が低い | アイドリング調整ねじで調整 | 20 |
| 運転中にエンジン停止 | ・燃料の欠乏 | 燃料給油 | 13 |
| | ・燃料フィルター目づまり | 販売店で修理 | ― |
| | ・燃料に水の混入 | 燃料交換 | 13 |
| | ・スパークプラグのカーボン付着による短絡 | 清掃 | 24 |
| | ・プラグキャップの抜け | 確実に取付ける | 24 |
| | ・電装部品故障 | 販売店で修理 | ― |
| | ・ピストン焼き付き | | |
| エンジン停止困難 | ・スイッチ故障 | チョークレバーを閉の位置にしてエンジンを停止、販売店で修理 | 15 |
| | ・アース線の断線 | | |
| | ・エンジン過熱 | アイドリングにして冷却 | ― |
| エンジンの回転を下げてもブレードが止まらない | ・クラッチ故障 | 販売店で修理 | ― |
| | ・アイドリング回転数高い | アイドリング調整ねじで調整 | 20 |
| エンジンの回転を上げてもブレードが動かない | ・ギヤケース・クラッチの故障 | 販売店で修理 | ― |
| | ・ブレードの破損 | | |
| ブレードの切れ味が悪い | ・ブレードの刃部が摩耗している | 販売店でブレードの目立て又は交換 | ― |

## 10．主な消耗品（お買い上げの販売店にご用命ください）

| | |
|---|---|
| スパークプラグ |  |
| フューエルフィルター |  ※販売店で交換 |
| フィルター |  |
| プリフィルター |  |
| パッキン |  ※販売店で交換 |
| ブレード |  ※販売店で交換 |
| グリース |  |

## MEMO

## MEMO

shindaiwa

# 保 証 書

(Type-A)

このたびは新ダイワ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきましては、つぎの通り保証いたします。

**1． 保証期間**

無償保証修理を受けられる期間はお買い上げ日から１年間といたします。但し、専門業者またはレンタル業など業としてご使用の方はお買い上げの日から６カ月といたします。

**2． 保証内容**

保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合にかぎり、修理を無償でいたします。

**3． 保証の適用除外**

つぎに示すような場合は保証期間中であっても有償修理となります。

（1）取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行なわなかったために生じた故障
（2）弊社が示す仕様の限度をこえて使用したために生じた故障
（3）弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
（4）弊社のサービス指定工場および弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
（5）弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
（6）時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
（7）一般的に品質、機能および安全上に全く影響がないと認められる音、振動、オイルのにじみ、外観上の軽微なキズなど
（8）自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
（9）一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
（10）製品が日本国外で使用された場合

**4． 注意事項**

（1）本保証書の提示なき場合または記載内容の不備あるいは改訂のある場合は保証しかねる場合があります。
（2）本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失および費用は保証の範囲から除外させていただきます。
（3）保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

| | | |
|---|---|---|
| 機種(型式名)： | | 製造番号： |
| お買い上げ日： | 年　　月　　日 | |
| お客様 | お名前：　　印 | |
| | おところ：〒 | |
| | TEL： | ご職業： |
| 販売店 | 住所： | |
| | 店名：<br><br>TEL：　　印 | |

新ダイワ工業株式会社
広島市安佐南区大塚西６丁目２－11

保証書番号　19701-02004

# 新ダイワ工業株式会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本 社 | 〒731-3167 | 広島市安佐南区大塚西6丁目2-11 | ☎ 082-849-2001 |
| 札幌営業所 | 〒065-0033 | 札幌市東区北三十三条東17丁目4-17 | ☎ 011-783-7551 |
| 仙台営業所 | 〒984-0042 | 宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45 | ☎ 022-239-1688 |
| 郡山営業所 | 〒963-0107 | 福島県郡山市安積4丁目48-1 | ☎ 024-945-8678 |
| 盛岡営業所 | 〒020-0122 | 岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5 | ☎ 019-641-3416 |
| 東京営業所 | 〒134-0083 | 東京都江戸川区中葛西6丁目17-8 | ☎ 03-3687-5771 |
| 千葉営業所 | 〒264-0025 | 千葉市若葉区都賀3丁目19-1 | ☎ 043-214-0260 |
| 多摩営業所 | 〒192-0043 | 東京都八王子市暁町2丁目6-3 | ☎ 0426-20-5590 |
| 横浜営業所 | 〒222-0025 | 神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33 | ☎ 045-431-7786 |
| 静岡営業所 | 〒422-8046 | 静岡市駿河区中島2834-1 | ☎ 054-282-7012 |
| さいたま営業所 | 〒331-0811 | 埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目19-4 | ☎ 048-666-2521 |
| 宇都宮営業所 | 〒321-0912 | 栃木県宇都宮市石井町3149-28 | ☎ 028-656-8737 |
| 土浦営業所 | 〒315-0052 | 茨城県かすみがうら市下稲吉1628-4 | ☎ 0299-59-1005 |
| 前橋営業所 | 〒371-0037 | 群馬県前橋市上小出町2丁目46-3 | ☎ 027-234-5956 |
| 長野営業所 | 〒381-0043 | 長野市吉田5丁目24-16 | ☎ 026-244-3970 |
| 新潟営業所 | 〒950-0892 | 新潟市東区寺山3丁目32-12 | ☎ 025-275-5616 |
| 名古屋営業所 | 〒454-0826 | 愛知県名古屋市中川区小本本町1-75 | ☎ 052-362-2281 |
| 浜松営業所 | 〒430-0852 | 静岡県浜松市中区領家3丁目11-1 | ☎ 053-465-1140 |
| 津 営 業 所 | 〒514-0823 | 三重県津市大字半田池町590-5 | ☎ 059-227-2716 |
| 岐阜営業所 | 〒500-8367 | 岐阜市宇佐南4丁目2-4 | ☎ 058-271-4015 |
| 金沢営業所 | 〒920-0016 | 石川県金沢市諸江町中丁344 | ☎ 076-237-1230 |
| 大阪営業所 | 〒556-0022 | 大阪市浪速区桜川4丁目11-20 | ☎ 06-6561-8484 |
| 和歌山営業所 | 〒640-8482 | 和歌山市六十谷226-6 黒田コーポ | ☎ 073-462-7277 |
| 京都営業所 | 〒601-8304 | 京都市南区吉祥院前河原町1 | ☎ 075-321-0141 |
| 姫路営業所 | 〒670-0974 | 兵庫県姫路市飯田2-88 | ☎ 0792-33-6838 |
| 広島営業所 | 〒731-3167 | 広島市安佐南区大塚西6丁目2-11 | ☎ 082-849-2400 |
| 防府営業所 | 〒747-0031 | 山口県防府市迫戸町5丁目25 | ☎ 0835-27-0575 |
| 岡山営業所 | 〒700-0965 | 岡山市西長瀬261-104 | ☎ 086-241-3013 |
| 高松営業所 | 〒761-0101 | 香川県高松市春日町片田1638-7 | ☎ 087-843-1201 |
| 松山営業所 | 〒790-0064 | 愛媛県松山市愛光町9-14 | ☎ 089-922-8886 |
| 福岡営業所 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田3丁目5-22 | ☎ 092-411-9801 |
| 小倉営業所 | 〒803-0826 | 福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8 | ☎ 093-561-3422 |
| 諫早営業所 | 〒854-0066 | 長崎県諫早市久山町1785-5 | ☎ 0957-49-8857 |
| 大分営業所 | 〒870-0155 | 大分市高城南町7-13 | ☎ 097-552-1745 |
| 熊本営業所 | 〒861-8045 | 熊本市小山3丁目7-26 | ☎ 096-388-0096 |
| 鹿児島営業所 | 〒890-0073 | 鹿児島市宇宿2丁目23-18 | ☎ 099-257-6801 |
| 宮崎営業所 | 〒880-2112 | 宮崎市小松2399-6 | ☎ 0985-62-3612 |

080416